

1	貧困を減らすためにできること～フィリピンの貧困層に役立つには～
1年	文理探究科(国際) 岡睦姫 多くの人々が貧しい生活を強いられている貧困国であるフィリピン。貧困層であり十分に教育を受けられないフィリピンの子どもたちのために私にできることは何なのかを探究した。
2	地元学に基づいた地域社会のWell being追求
2年	海洋科学科 清常翔太 山口大輔 野口功登 河合智揮 自分たちの住んでいる地域の周辺を歩き、街を歩いている地元の方々に地元の「良いところ」や「幸せ」などについてインタビューを行う。その結果をまとめ地域の方々と共有する。
3	サボニウス型の風車を作る
2年	普通科(理系) 北原煌己 内藤遼太 これから、地球環境を守っていく方法の一つとして二酸化炭素削減があります。僕はサボニウス型という風車を家で作れるくらい大きさで作って、どれくらい発電できるのか調べる。そこから羽の数など条件を変えて発電量は変わるのか調べる
4	鮭の飼育について
1年	海洋科学科 大谷玲来 河村奥太郎 今現在日本でたくさん食べられている鮭を使って地域発達ができればと考えた。調べた結果問題点は夏期の水温の上昇を抑える必要がある点、淡水での飼育は過去の研究結果を調べていたら6ヶ月間の飼育の中で多くの死魚が出たことがわかった。そこで、工夫をして鮭を上手く使い食べやすいものにし万人受けするようなものになりたいと考えている。
5	温泉の最高理論値
2年	普通科(理系) 垣東嵩之 田中悠輝 富岡建志 山岡大樹 山崎杏人 温泉の効果を可能な限り最大限に引き出しそれを効率的に受けられる温泉の入り方を探るのが目的である。実際に入浴時間を変えて5分10分20分とそれぞれの入浴前後のストレス値を求めた。それによってどれほどリラックスできたか測った。
6	食品ロス削減の第一歩！地域社会へ食品ロス削減の輪を広げよう
2年	国際探究科 砂津緒 安田ひより フードドライブ(以下FD)の知名度向上のために、FDのイベント計5回実施。実施ごとに課題を見つけ解決を行った。また中学校にFD・食品ロスの授業実施。探究活動を経て高浜町民のFDの知名度が向上した。
7	150キロ・ホームランプロジェクト
2年	普通科(文系) 二見徹 研谷湊都 野球ではホームランを打つことや150キロ投げことは、球児にとってロマンであり、長所になる。野球のパフォーマンスを上げるためにネットや本を参考に、トレーニングのメニューを立て実際に取り組んでいる。
8	ナンプレからの発展～新しい脳トレ～
2年	理数探究科 荒木一聖 荒木智貴 京部優斗 これまでは4×4のナンプレを利用して、ナンプレの性質を探してきた。ナンプレは解の判別に数字の並べ方、回転、反転も利用できることが分かった。現在はUnityを利用して、新しい脳トレの制作を目指している。
9	観光客を増やすポイント
1年	普通科 板谷慎太郎 伊藤尚真 竹村知己 藤原陽樹 観光客数において小浜市は敦賀市、若狭町につづく三番目に多いとされている。そこで観光客を増加させるためのポイントやそのポイントを踏まえ、具体的にどうすればいいのかと考えて旅行プランなどとして実行しようとしている。
10	マスク着用時の声の伝わりにくさの検証とその研究
2年	理数探究科 川口稜護 コロナ禍によりマスクを着用する人は大きく増えた。その中で「マスク越しの会話は聞き取りづらい」という声がある。それは正しいか否かを音声分析の観点に基づき検証を行う。
11	未利用魚であるアカヤガラの活用
2年	海洋科学科 渡辺有飛 柚木崇佑 川崎幹成 山下侑真 若狭湾で漁獲されているが活用されていない「アカヤガラ」に着目し、小浜海産物(株)と共同で研究を行った。魚肉を練り製品に加工し、商品化を目指したが様々な問題があることが分かった。
12	食用性チョコレートの製造
2年	普通科(理系) 岩崎日菜乃 上野つばき 世界で課題となっているごみ問題の中で卵の殻に注目してみると卵の殻は捨てずに再利用できることを知った。再利用方法の中でチョコレートに注目し、調べてみると食べられるものがあることを知り組み合わせたら面白いのではないかと考えた。
13	海と山を繋ぐサイクル
2年	海洋科学科 岡部暖音 小岩井孔明 鹿が増えすぎたことにより「山が荒れ」、次いで「海が荒れる」ということを知った。海の環境保全・回復のために獣害問題に侵されている山を豊かにしようと考えた。鹿をうまく利用する環境保全のサイクルを作成する。
14	紙教科書とデジタル教科書
2年	普通科(文系) 竹本寿々羽 デジタル化する社会で、現在では教科書もまたデジタルのものが増えてきた。デジタルと紙が共存する中でこの先の訪れる完全デジタル化は生徒たちにとって良いことなのかという問いをたてて今後デジタルと紙が共存していくためには何をすべきか考えた。

15	渋滞解消法	1年 普通科 石谷蓮弥 佐々木颯斗 森田大地	近年、交通渋滞は日本で大きな社会問題として問題視されており、この小浜市でも渋滞がよくおきている。そこで今探求では数学を用いて解消策を検討し、渋滞改善に繋げることを目標としている。
16	若狭の梅を用いたスムージーの作成	1年 普通科 一瀬喬月 植村愛葉 田淵明愛	スムージーは健康に良かったり、女性に人気だったりするので、私達も作ってみたいと思った。そこで若狭の特産品を使って、美味しいスムージーが作れないかと思い、梅でスムージーを作ることにした。
17	若狭地区にSDGsを広めよう！	2年 国際探究科 宇野心咲 近藤安純	若狭地区の小中学生にSDGsを自分事化してもらう為に活動している。今年度は4つの小中学校でワークショップを行った。持続可能な若狭地区をつくる為には小中学生の日常でのSDGsアクションが必要だと考える。
18	廃棄される魚を使って猫の餌を作る	1年 海洋科学科 上山千咲登 南綾乃 山口莉空	現在、市場では商品として売られない魚や加工したときにアラが出ており、その活用方法を考えたいと思った。廃棄されるものを猫の餌に変えて売り、利益を猫の保護活動をしている方に寄付する活動をした。
19	Well-being×探究	2年 国際探究科 松本奈々	今年から探究学習が始まった出身中学校ではコロナ対策による制限が多く、生徒の積極性に悩んでいる事が分かった。私は講演会や助言会を通して探究の質を確保し半構造化インタビューの結果をクラス間で比較した。
20	おおい町で子育てをしてみませんか。	中学3年生 名田庄中学校 口手希彩 田中颯翔 森口若奈	私たち名田庄中学校3年は、おおい町で子育てをしたいと思う人を増やし、急速に進んでいる人口減少を防ぐための取り組みについて、保護者の方々や役場の担当課へのアンケートを基にしながら、考えてきました。
21	韓国語の楽しい学び方	2年 普通科(文系) 嶋本来樹	楽しく韓国語を学ぶことができれば、モチベーションを上がり、やる気が起きる。韓国語の上達を感じられ、韓国語を好きになるようになってほしいので、韓国語の楽しい学び方を探究したいと考えた。
22	地震に強い照明構造	2年 普通科(理系) 江上里緒 細川千晴	最近では石川県で大きな地震が発生した。また日本は地震大国であり年々地震の発生回数が増え続けている。そこで私達は地震の被害を最小限に抑えるために何ができるのかと考え地震に強い照明の構造を探究することにした。
23	若狭梅の殺菌効果を利用したハンドソープづくり	1年 普通科 井上瑠香 濱あんり 林一花	皆さんは梅の魅力をどのくらい知っている？インフルエンザが流行るこの時期、手洗いが効果的な予防方法とされている。そこで私達は若狭町の特産品である梅3種類を利用して石鹸を作ることにした。
24	植物を顔料にした絵の具の評価	2年 普通科(理系) 竹内ひなた	植物から市販品のような絵の具は作れないのか。そう思いこの実験を始めた。抹茶の作り方を参考に植物の緑を保ち、粉末状にした植物を顔料として使用し、絵の具をつくる。そして、その絵の具の評価をするまでが目的だ。
25	ゴミを活用しよう！！	2年 普通科(理系) 要こころ 新屋千紗	私たちは普段の生活の中で発生するゴミに注目した。社会で生活する一人として何かできることはないだろうかと考え「忌避剤」にスポットライトを当てた。私たちの一番の目的は厄介だと感じる虫を殺すことではなく退治することだ。
26	若狭高校内のカビ及び細菌への紫外線照射による減菌効果	2年 理数探究科 一瀬若菜 平野嵯和子 福井みのり	空気中には目に見えないカビや細菌が多く存在している。なかには人体に有害なものもあり、医療機関では紫外線殺菌装置が利用されている。私達はより身近な若狭高校内に存在するカビや細菌の紫外線による減菌効果を調査していく。
27	御食国をSNSで広めよう	1年 普通科 柿本展義 坂本瑛飛 西森大翔	全国に3つしかない御食国。調べた結果、全国的に知名度が低いことがわかった。そこで私たちは御食国を活性化させるために、御食国の現状を調べ、知名度を上げるプランを考え、御食国の知名度を上げようと考えた。
28	高齢者の自己肯定感が及ぼす影響とは	1年 文理探究科(国際) 木村光 山下天寧	高齢化が進む中で、高齢者が生きやすい社会にしたいと考えた。2人が思う理想は、高齢者が必要とされない世の中を変えたい！だ。その上で、自己肯定感を上げて幸せに暮らせるように私たちに出来ることはないか考えた。

29	生活習慣病(高血圧)が原因の死者を減らす
2年	普通科(文系) 野勢くるみ 生活習慣病が原因の死者は年々増加している。調べた結果、生活習慣病は死因の約5割を占めていることが分かった。そこで私は、その一つであり、小浜市で課題となっている高血圧に着目し、予防方法を考え、減塩を広めている。
30	小浜市のモヤモヤを紐解く
2年	普通科(文系) 奥賀行 中島慶太 小浜市の課題を解決するためにどうすればよいかを模索し、まずは小浜市民や若狭高校生に小浜市に興味を持ってもらうことが大切だと気づいた。小浜市に興味を持ってもらうため小浜市に関する知識を収集し、発信する手段を探している
31	プラスチックのごみ活用法
1年	海洋科学科 沖田一馬 山口遥花 秋、冬に同じ場所でゴミ拾いをしたときのゴミの量や種類を比較して、その中で、特に多かったゴミの活用法やなぜ季節によってゴミの量や種類が変化するかを調べていきたい。また、プラスチックごみに関しては種類ごとに分けて調査していきたい。
32	わたしたちの森林を守る
1年	普通科 貴田好春 濱側妃優 鹿による食害などの被害が嶺南地区でも問題になっていることを知った。そこで、森林についてのパンフレット作成や緑の募金を通して、森づくりについて更に知ってもらうことを目標として活動している。
33	若狭の国際交流
2年	国際探究科 安藤優月 田邊里緒 小浜には約300人もの外国の方がいる。国籍関係なく、若狭地区を異文化共生社会にすることを目標としている。フィールドワークを重ね、若狭地区にとってより良い国際交流の形について探究し、実践を行っている。
34	小浜の食のPR
1年	普通科 荒木未透 田辺一花 早佐風歌 百田遥香 吉村美良乃 嶺南地域は、県外観光客が少なく年齢層も浅いのもっとたくさんのお金を使ってもらいたいと思ったからである。そこで観光客の現状を知るためにアンケートを設置した。より効果的なPRができるようにアンケートを元に現状を知っていきたく考えた。
35	外国人に認知される小浜の樹立
2年	国際探究科 澤本啓聖 仲野裕貴 小浜市の外国人認知度を高めて外国人観光客を増やすことを目標としている。現在はインスタグラムとウェブサイトを作りPR活動中。外国人の興味・関心を探り、それに適した写真や動画を解説付きで投稿している。
36	ニジマスの餌の改良とその実験
1年	海洋科学科 北山海翔 細川京吾 森見鴻志 今現在あるニジマスの餌にレモンを施した新しい餌を作る。生臭さが消えたり、レモンの匂いが香る効果が既製の餌と作った餌でニジマスに反映されるのか検証したい。
37	物質の円形展開形による規則性に関する研究
2年	理数探究科 一ノ瀬凜 紙を広げる際に用いられる方法の一つである、円形に力を加える方法は規則性が解明されていない。そこで、私は摩擦係数と物質の展開速度に関係性があると考え、研究を行っている。
38	海洋ゴミの現状を知る
1年	海洋科学科 神原悠希 小林叶芽 塩原妃依来 田中煌大 細川敬史 現在海ごみが世界的に問題となっている。そのうち、日本から発生している海洋プラスチックは2~6万トンである。私たちはこれを少しでも減らしたいと考え、まずは地域の海ゴミについて知り伝えることを考えた。
39	効率よく記憶を定着させる方法
2年	普通科(文系) 高島和奏 森口七海 多くの高校生が学力に関する悩みを持っていると知り、学力を向上させるには効率よく記憶を定着させることが大切であると考えた。そこで、アンケートを採ったり実験を行ったりしながら、効率の良い記憶の定着法を調べた。
40	魚粉を3Dプリンターでサバキューブに
2年	海洋科学科 田中颯太 荒木信人 私達は、小浜のサバを魚粉にし3Dプリンターを使ってキューブ状の宇宙食を作るというテーマで探究をしています。
41	地元のパン屋の活性化
1年	普通科 岩本菜花 奥村楓子 片岡優月 小浜には4箇所のパン屋があるのをご存知だろうか。その中の1店舗に協力していただき、探究をしている。私達がパンと関連づけて着目したのは日本の米の消費量減だ。そこで米粉パンを提供することで小浜のパン屋を活性化できると考えた。
42	黒板すべりの研究～チョークの粉を舞わずに落とす～
1年	文理探究科(理数) 梅萐陽大 岩本菜子 川端千里 日直などの仕事でチョークの粉が舞って、服が汚れることがあるのでチョークの粉の舞う量を減らそうと考えた。そこで黒板すべりという現象について調べ、先行研究をしていた学校の先生にお話を伺って黒板滑りの現象を再現した。

43	小浜市のことを全国に広めるにはどのような宣伝をすれば良いか
1年	普通科 鈴木蓮司 田辺緑音 僕たちはSNSでの宣伝について考えた。そして、有名な企業のネットでの宣伝を見てどのような宣伝方法が小浜をアピールするのに効果がありそうか考えた。今後、考えをまとめて小浜市の広報に対してその方法を提案しようと考えている。
44	部活改革
2年	普通科(文系) 中畑温希 "雑用係"そう思われがちなマネージャーの部活内の仕事について考え直しチームの為にマネージャーだからこそその視点で出来ることを発見し実践していく。
45	未利用魚を使った魚の血や内蔵で作る様々な色
1年	海洋科学科 清水空 土本真子 今も廃棄され続ける未利用魚のマゴチとアイゴを活用して血や内臓などから色を作り、未利用魚の新たな活用方法を探る。
46	小浜観光客増加計画
1年	普通科 石地侑希子 北川幹太 島津瑞希 清水千晴 吉岡優衣 小浜市の観光客が減少しているため、観光スポットをSNSなどでPRしようと考えた。そこで自分たちで観光スポットを探して、Instagramで公式の小浜観光アカウントを利用してPRすることを目標にしている。
47	小鯛ささ漬を使った商品開発と給食献立採用に向けた活動
2年	海洋科学科 高山陽花 一瀬小雪 山田和花奈 私たちは小鯛ささ漬を使った商品開発・レシピ開発を行った。ささ漬を使った様々なレシピを考案したが、商品化するまで問題点があり実現しなかった。現在は中学校向けの給食献立としてレシピを提案している。
48	観光×cafeで小浜市を活性化
1年	普通科 内田美羽 大下彩月 島田真帆 堂脇葉奈 平井莉央 現在小浜市ではコロナの影響もあり観光客数が大幅に減少している。このことを解決するため、若い世代に人気のあるカフェと全国でもめずらしい八百比丘尼伝説を関連させ、活性化に貢献できないかと探究活動に取り組んできた。
49	消臭ボール
2年	海洋科学科 磯辺愛日里 高木美空 産業廃棄物である牡蠣殻の有効利用について探究している。牡蠣殻には消臭効果があることが分かり、牡蠣殻でできた消臭剤を作ろうと考えている。
50	自然と心の関係
2年	普通科(文系) 長谷川由奈 私自身、自然と関わる活動をすることでストレスを感じにくくなり心がスッキリすることがあった。自然と関わることのメリットがたくさんあることを知り、ストレスを抱えやすい人が多い今、少しでも生活が楽になるような活動はないかを考えた。
51	海の環境問題～生分解性プラスチックを活用する～
1年	文理探究科(理数) 大下真央 小堂真実 清水通斗 中森陽太 今の社会はプラスチックについて多くの問題を抱えている。そこで環境に良いとされる生分解性プラスチックに注目して、どのようにすればより扱いやすくより便利なものになるのか実験し考察することにした。
52	小浜の観光客の増加
1年	普通科 時田諒 東野真之介 今の現状として小浜市の課題は観光客数の減少が第一に挙げられると思う。そこで私達は空き家をうまく活用すれば観光客を増やすことができるのではないかと考えた。空き家がどこにあるかを知り活用方法を考えていく。
53	若狭町に移住しよう！
2年	国際探究科 旭ひかり 若狭町の活性化を人口減少に着目して高校生の立場でできることを様々なフィールドワークを通して考えた。現在は移住への道のり作りとして若狭町のHPに移住者の声を掲載させて頂くことになり、インタビューや座談会を行っている。
54	アナアオサクッキー
2年	海洋科学科 園田星空 新谷悠 永宮知花 若狭地域では、栄養が豊富なアオサを使った商品がない。そのため、クッキーを作り、より多くの人に食べてもらうことで、知名度アップを目指している。
55	使い捨てカイロで水質改善
2年	理数探究科 加藤壺宙 杉谷佳宥 中根佑輝 我々は使い捨てカイロに含まれる酸化鉄を利用した水質改善に取り組んでいる。先行研究から得た、水質改善に対する鉄イオンの効果の知識を応用し、酸化鉄の磁性を取り戻し、水質汚濁の原因物質を以上の2つの方法を酸化鉄に應用して水質改善を目指す
56	イワガキのシングルシード養殖 水温とイワガキの生存率について
2年	海洋科学科 百田真啓 井根本楓大 口手睦登 イワガキのシングルシード養殖の研究を引き継ぎ、適切な養殖条件を模索している。現在、稚貝を垂下する水深を深くして生残率や成長について研究している。

57	ツーリングマップを作る
1年 普通科	今井翠咲 坂結月 西山凛々花 村上梨夏
<p>増えていく小浜市のツーリング観光客。そこで私達はツーリングマップを作ろうと思いバイカーの人たちにインタビューをしました。インタビューを元に宿泊者用マップ、日帰り用マップ、神社、お寺巡りマップ、飲食店巡りマップを作成しました。</p>	
58	へしこ
2年 海洋科学科	福田爽太 堂前一希 井上太遥
<p>業者が困っているへしこの臭い香りの原因を主に究明している。へしこは蛆虫が湧きやすいこと、糠漬け工程がへしこにとっては大事であることに目をつけて計4種類のへしこを用いて、官能検査、pH検査を行った。</p>	
59	部活と勉強の両立をするために
2年 普通科(文系)	高木道成
<p>高校生は進路を考える大切な期間である。進路を実現する上で勉強は大事である。しかし、今しかできないことも楽しみたいという思いも強い。その一つに部活動がある。高校生の永遠の課題である勉強と部活動の両立について考えたい。</p>	
60	考古学の発信～考古学に興味を持ってもらうためには～
1年 文理探究科(国際)	田中愛穂
<p>考古学に携わる人の数はじわじわと減少している。歴史、文明を紐解くことは未来の私達にとって重要なことである。しかしながらその道を進む者が減少しているのはなぜなのか、この学問を残すために何ができるのかを考える。</p>	
61	子供の遊び道具を作ろう
1年 普通科	栗原那奈 小林由奈 松宮柊佳
<p>子供にとって大切な遊び。幼少期の遊びは成長に大きく影響することを記事で知った。遊び方がだんだん変化していく中で子供の感性を刺激する知育おもちゃを地元若狭と絡めて作ることで幼児教育と地域活性化を一緒にできないかと考えた。</p>	
62	はまかぜ商店街活性化～高校生の利用増加に繋がる企画とは～
1年 文理探究科(国際)	岩井柔樹 杉本茉優 瀬戸彩 田中瑛太 中島菜 風呂碧輝
<p>はまかぜ商店街は年々衰退の傾向にある。私達は利用者の高齢化に着目し、高校生を対象としたイベントの開催により、商店街に対するイメージを明るくものにしていく。そして最終的には高校生が集える場所の設置を目指す。</p>	
63	災害被害の減数と避難所の改善
2年 普通科(文系)	永山愛桜
<p>南海トラフなどの大地震の発生率が高まる中、災害による被害を減らしたいと考えた。災害の被害を減らすには避難所に早めに避難することが重要である。しかし避難所の設備が悪く避難しない人が多い。なので避難者を増やすために学校などの避難所の設備の改善を目標としている。</p>	
64	雲浜地区の途絶えそうな文化をつなごう
2年 国際探究科	清水陽菜
<p>かるた人口の減少傾向。コロナ禍による小学生の文化体験活動の減少や活動制限。これらを解決するために、小学校で連携授業を10回以上行い、競技かるたの楽しさを伝えた。授業を通して、小学生の非認知能力も高めることができた。</p>	
65	イワガキブランド化
2年 海洋科学科	上村優月 上中保奈実 寺井心渚 安田心晴
<p>現在、小浜市はイワガキのブランド化を進めている。生産者は出荷先の用途により水揚げを行っているが、それぞれに合った効率の良い養殖方法について模索、研究する。</p>	
66	余暇と健康
1年 普通科	上尾奏翔 榎本達 松岡龍太郎
<p>私達は余暇と心の健康について探究している。普段の生活の中で自分の好きなことをする時間が少ないと感じたため、普通科の1年生を対象にアンケートを取り、その結果を元におすすめな余暇の過ごし方を提案する。</p>	
67	福井のお米から団子を作ろう!
1年 普通科	高田花蓮 渡慶次琉花 橋本幸花
<p>数々のブランド米を作り出した福井!私達はお米の良さを活かし団子を作ろうと考えた。またタレにも福井の名産品を使い、新商品の開発を目標に改良を重ねた。そして、最もいい組み合わせを探求した。</p>	
68	農業の新3Kを広めよう!
2年 普通科(文系)	岡見真奈 吹田悠
<p>現在農業は深刻な後継者不足である。大きな理由として3K(キツイ・汚い・危険)がある。私たちはそのイメージを払拭するためスマート農業について探究し、新3K(稼ぐ・効率化・簡略化)を広めたいと考えている。</p>	
69	白うさぎは何を表しているのか ～
1年 文理探究科(国際)	森口心晴
<p>アリスを不思議の国へと導ききっかけとなった白うさぎ。物語に何度も登場し、いつも急いでいる彼は何を表しているのか。白うさぎの服装や言動を、当時のイギリス社会と照らし合わせて読み解いていく。</p>	
70	音楽イベントが人に与える影響
2年 普通科(文系)	池田瑚々萌
<p>身近な人を中心に音楽イベントに行く人が増えていると感じる。音楽イベントに関するデータを分析し、傾向を見つけ出して求められる音楽イベントの開催に繋げたい。人々が音楽イベントにどのような気持ちを抱いているかもアンケートから調べようと考えている。</p>	

71	消しかすの有効利用
1年	文理探究科(理数) 田中脩三 稲葉陽生 杉山修平 藪本宗之介 消しかすは私たち学生の身の回りのもので最も利用価値がないものだと私たちは考える。だがそのゴミを有効活用することにより、より効率的に生活できると考えたため、消しかすの有効活用について探究することにした。
72	ヒジキクッキーで空腹防止!
2年	海洋科学科 泉本菜那 秦梨那 濱岸愛空 竹田那月 私たちは、小浜で初めて養殖されたひじきを利用し、栄養の豊富なひじきと、腹持ちの良いおからを使って、授業中でお腹が空くことがなく、手軽に食べることのできるクッキーの開発を行った。
73	案内板について
2年	国際探究科 岩本蒼生 案内板は人々の移動を支える。この研究では、容易に作成でき、かつ利便性にも優れる「プレゼンテーション型案内板」について考察した。サンプル試作や文献調査を通し、「わかりやすさ」とは何かについても探る。
74	野良猫があまりストレスなく早く人馴れするには
2年	普通科(文系) 野村葵夏 年々減少してきている猫の殺処分率が未だに数が多いことが問題である。そこで私は猫の殺処分を減らしたいと思いその方法である猫の譲渡に目をつけた。譲渡される猫には人馴れている猫が多いと知り、私は猫が早く人馴れする方法について探究した。
75	サバ以外の名産品をPR
1年	普通科 浦谷実沙 小見山太良 山崎帆乃 小浜といえば「サバ」というイメージを多くの人は持っていると思う。しかし調査した結果、小浜にはそれ以外にも若狭わかめ、小鯛の笹漬けなど魅力のある名産品がある。そこで私達は名産品の人気ランキングを作ろうと考えた。
76	クラゲの飼育～刺胞の動き～
2年	海洋科学科 澤田幸太郎 中村弘貴 クラゲの飼育方法を確立しながらクラゲの刺胞のメカニズムを解明していきたいと考えている。クラゲを捕獲し、刺胞をはさみで切り落とし、顕微鏡で観察する。観察するときは刺激を与えどんな反応をするか観察する。
77	特産品を使った美味しいものを考えたい
1年	普通科 岩田花菜 浦松美優 山口奈菜 私たちは小浜市の特産品があまり知られていなかったのもっとたくさんの人に知ってもらいたいと思い、特産品をさらに美味しくして広めたいと思った。そこで地域の方に小浜の米粉を使ったクッキーをおすすめしていただいたので作ることにした。
78	マイクロプラスチックの回収方法の正確性と実験方法の確立
2年	理数探究科 針幸琉聖 山中健太郎 吉田直矢 世界でマイクロプラスチックによる環境汚染が問題視されている。そこで私達は、既存の実験方法の正確性を確かめ、これまでのデータの補正や浜でのマイクロプラスチックの採取を正確に行うことを目的とし、現在はプラスチックの種類ごとの回収率を実験している
79	物語を面白くするためのキャラクター作り
1年	普通科 山本空 自分の物語創作の力を向上させるため、読者さんに楽しんでもらえるようにするため、登場キャラクター作りという物語創作の一部に焦点を絞りました。「親しみやすく覚えやすいキャラクター」をテーマに、探究を進めていこうと思います。
80	サゴシとシイラの活用法
1年	普通科 柳原悠人 山崎温史 小浜市のサゴシとシイラを知ってほしいと考えた。地域の方から学ぼうとサゴシとシイラが小浜市で漁獲されているにも関わらずあまり現地で消費されていないことがわかった。そこで私達はサゴシとシイラの調理方法を探した。
81	ニジマスの海水馴致
1年	海洋科学科 勝本悠生 中井颯大 藤田壮 堀田凜 松吉琥宇 ニジマスは内水面で養殖するより、海水面で養殖する方が成長も良く価格も高い。しかし、適切な海水馴致方法が分からない状態である。そこで、適正な塩分濃度を模索するため、濃度の違う飼育水槽を3つ用意し、飼育を始めた。
82	Let`s 한글～韓国語の歌詞を翻訳しよう～
1年	文理探究科(国際) 林芽衣 堀口藍里 近年世界中で注目されているk-pop。その日本語訳に違和感を持つ人が多く存在する。私達はこの探究で翻訳をすることで違和感を持つ人の手助けをし、翻訳をする過程で自分たちが韓国語を学び、その魅力を発信することを目的としている。
83	磯焼け抑制の方法を考える
1年	海洋科学科 川崎貴登 山本晃大 僕たちは、海洋の酸性化に興味を持って調べていくうちに、磯焼けと酸性化が繋がっている部分があることに気づき、磯焼けについても探求したいと考えた。そして、牡蠣殻の使用についても考えたいと思った。
84	スプラトゥーン3の塗りポイントと勝率の関係
2年	普通科(理系) 中川睦心 中西優月 スプラトゥーンが楽しい!面白い!大好き!私達は、スプラトゥーンをプレイしていく中で何が試合の勝利に繋がるのかが気になった。そこで、スプラトゥーンならではの「塗りポイント」が試合の勝率にどのように関係するのか調べてみることにした。

85	小浜ガラスと瑪瑙を使った商品作り
1年	海洋科学科 吉村琉空 熊谷瑛人 私たちは、浜に上がったゴミや、まだ利用価値がある瑪瑙を利用し、新しい物を生み出そうと考えている。また、ガラス工房keisさんが作る「小浜ガラス」を使用した商品作りで地域を有名にする目標を持っている。
86	ブルーライトと睡眠の質の関係
2年	普通科(理系) 石田美優 杉谷菜羽 近年、ブルーライトが睡眠の質に悪い影響を与えていると聞くようになった。そのため、ブルーライトを浴びる原因として最も身近であるスマホの使用がどれほど睡眠の質に影響を与えるのか調べることにした。
87	地域で向き合う認知症
2年	国際探究科 田中咲妃 1年後には高齢者の20%が認知症になると言われている日本で偏見を持たない地域創りをするのが重要だと考えた。小学生に認知症の人の接し方を知ってもらい持続可能な社会を創っていくための授業を企画している。
88	紹介マップづくり
1年	普通科 大野裕生 杉谷理奈 野中千博 小浜にゆったりできる場所がない!?そんなことはありません。私達は小浜にあるカフェを調べ、マップを作成しようと探究しています。小浜の魅力的な場所を工夫して紹介できるのではないかと考えました。
89	嶺南地域における次世代モビリティ導入の可能性を探る～地域に密着した交通システムの構築～
1年	文理探究科(国際) 松井敦生 公共交通機関の利用者数は年々減少している。小浜線については廃止も危ぶまれる。嶺南地域に適する交通手段とは何なのか。BRT(バス高速輸送システム)や電動キックボードのシェアなど次世代モビリティを考える。
90	若狭地域の魚介類消費について
2年	海洋科学科 高橋楓果 浦松美空 魚介類の消費量は年々下がってきており、全国的に魚離れを減らすための試みが行われている。私達は若狭地域の魚離れに注目し、魚介類消費量を上げるための探究活動を行っている。
91	納豆菌の農芸利用 ～環境に優しい農業を目指して～
2年	理数探究科 玉井菜月 溝上夏楓 近年過剰な化学肥料による環境汚染が問題となっている。そこで私達は自然由来の納豆菌を農業に利用できないかと考えた。現在は、植物の成長促進と土壌改善の2つの視点から農業における納豆菌の有用性について研究を行っている。
92	にがりによる美容活用
2年	海洋科学科 澤田心夢 藤内志帆 田中万梨奈 道下結羽 若狭地域では塩づくりが行われているが、製塩の廃棄物である「にがり」は廃棄されていた。しかし、様々な利用法があることを知り、その中でも「美容」に効果があることに着目し、研究を進めている。
93	プラスチックの代替品
2年	普通科(理系) 大南穂奈美 吉田智暁 私達は、地球環境問題の解決に近づくために寒天でプラスチックの代替品を作成することを目指した。先行研究で寒天プラスチックは作成されているが、まだ使用できる状態にまではできていなかったため、実験を重ね改良を続けている。
94	知的安全性を高めるには
2年	普通科(文系) 大塚彩花 垣本羽香 北村妃菜里 高橋里奈 ALTの先生や若狭高校生にインタビューをしたり、各学年のクラスの授業を見学したりして、2-5のP4Cの授業をもとに知的安全性を高めるためにはどうすればいいかを探究しました。
95	サウナの入り方
2年	普通科(理系) 川端隼斗 上馬颯斗 真木玲生 最近来ているサウナブーム。サウナの入り方によって整い方が違うことがわかった。そこで、私たちは、サウナはどうやって入れれば一番気持ちよく整えるのかというテーマのもと探究を進めた。
96	野菜の皮を用いたダンボールの作成
2年	理数探究科 森田智 山崎寛太 私たちの研究の目的は、野菜の皮からダンボールを作成してより環境にやさしい世界にすることである。昨年度の反省をふまえて紙を作った結果、引張強度については、ダンボールに近づけることができたと思える。
97	スポーツと音楽の関係
2年	普通科(理系) 青井宏斗 音海友哉 杉本明音 福永尚史 山内立樹 渡邊瑠菜 僕たちは長い間スポーツをしてきて、スポーツと音楽の関係性について疑問に思った。そこで、音楽をかけてスポーツをしてパフォーマンスが上がるのかを調べた。そしてこれからの部活動やパフォーマンスに役立てたい。
98	他者理解の第一歩！HSPの認知度向上を目指して
2年	国際探究科 小野百々果 長谷川夢 「繊細さん」として近年注目されるようになったHSP。私たちは、そのHSPの特性を多くの人に知ってもらいたい。そして、多様性社会を生きるうえで大切な「他者理解」のきっかけになってほしいと考えている。

99	マグネシウムの活用
2年	海洋科学科 浦谷大地
マグネシウムを溶かした水が洗濯に有効であるかを確かめるため、水道水、洗剤を溶かした水道水、マグネシウムを溶かした水道水のそれぞれで汚した布を洗い、洗浄効果の比較をする。	
100	御食国大使として何ができるか
2年	国際探究科 川瀬奈穂 田辺晃翔 西脇瑞葉
市公認の御食国大使として活動をしている。活動の一環として、市外の4つの小学校に出前授業を行った。観光客数増加という目標を達成するには、出前授業を経て小学生に小浜の魅力を知ってもらうことが大切だとわかった。	
101	名探偵コナンのトリックは本当にできるのか
2年	普通科(理系) 辻和佳
日本だけでなく、世界でも人気の「名探偵コナン」。そんなコナンが推理するトリックは、本当に全部できるのか。コナンのトリックはすべて完璧に見えるが、実際は出任せなのではないか、と疑問に思ったため、トリックを検証しようと考えた。	
102	絵の上達法
2年	普通科(文系) 大野葵
私は絵を描くことがとても好きで、絵に関わる仕事ができたらなと思っている。自分の絵の成長を探究で実感でき、多くの人を惹きつける絵が描けるよう目指したいと思っているので上達するための方法を研究したいと考えた。	
103	アクアポニックスの魅力発信隊
1年	海洋科学科 大澤美月 小川葉奈 下島虹七 前田奈々
現在、各国がSDGsを達成しようと様々な活動を展開している。私たちは、養殖+野菜の水耕栽培であるアクアポニックスに興味を持ち、探究活動を行った。アクアポニックスの魅力を多くの人に知ってもらいたい。	
104	フグに強い疑似餌を開発する
2年	普通科(理系) 高鳥翼
私は週末によく釣りに行く。しかし、毎回疑似餌をフグに齧られてしまう。その課題を解決するためにフグの歯よりも硬度のある疑似餌を開発することにした。実現するために釣具店の方に共同開発を依頼することにした。	
105	ゴミを減らして美しい内外海に
小学6年生	内外海小学校 河村太介 谷久心南 田橋達真 長谷川果音 濱頭隆太
内外海の家ゴミの調査を通して、ゴミがたくさんあることを知った。持続可能な地域づくりを目指して、海ゴミを使ってハーバリウムを作ったり、古着をリメイクしたりして、アップサイクルの視点から自分たちにできることを行った。	
106	スポーツをする上でメンタルに大きな差が出るのはなぜ？
2年	普通科(文系) 門脇結菜
私自身マネージャーとして部活動をする中で、選手のメンタルの差が気になった。そこで、メンタルについての質問に答えてもらい、メンタルについて色々なことを考察した。	
107	嶺南地方方言の研究～嶺南地方の方言はどのような特徴と歴史があるのか～
1年	文理探究科(国際) 竹内唯紗
方言を学ぶことは、日本語の歴史を辿る上で非常に重要な役割を果たす。私達が暮らす嶺南地方の方言にも、日本語研究への鍵が隠されているかもしれない。文献と先行研究の調査を中心に、嶺南地方方言を解明していく。	
108	炭による水質浄化
2年	普通科(理系) 北原育真 佐竹優佳
近年問題となっている地球温暖化。土の中でも深刻なのが水質汚染。そこで安価な水質浄化方法を確立するために探求を進めてきた。しかし、なかなかうまく結果が出ず苦戦してしまっていたが効果が発見できた	
109	テニスにおける配球と勝率の関係性
1年	文理探究科(理数) 赤崎大和 秋月晃明
テニスでより勝率を上げるため技術的な部分でなく戦術的な面で実力を向上しようと思った時、どこに返せば勝率が上がるのかを調べることでより勝率が上がるのではないかと考えた。また、これを検証するためにデータテニスを用いた。	
110	環境絵本
2年	海洋科学科 出口颯希 山口実幸 和久田穂乃香
海の環境をテーマにした絵本づくり。小学生から大人まで幅広い世代を対象に海の良さや海ゴミ問題などを伝え、最終的には製本を目標としている。絵本作家の方と共同で研究を行っている。	
111	子ども食堂を盛り上げよう！
2年	普通科(理系) 小林周平 野間信之介 西尾美咲 小野光士郎
最近よく聞く子ども食堂について調べてみると近くにあまりなかったり、知名度が無かったりした。そこで自分たちで実際に開いたりして、良かったことや課題などを見つけ、どのようにして広めたり多く開催できるかを考えた。	
112	昆虫から魚の餌を作る
1年	海洋科学科 片山葵斗
現在の魚の餌は主原料として魚で作られている。そこで、昆虫でも飼料を作ることができないかと考えた。実験方法として、昆虫で代用した飼料を魚に与え、成長度と食いつきを調べる。	

113	小浜の名水の魅力を知ってもらおう!!!
1年 普通科 浅妻莉愛 鳥左近桜 田中麻紗	小浜市の美味しい水が地元の人に知られていないと思い、この探究テーマにした。私達は主に雲城水のことについて調べた。そして同じクラスの人や職員室の先生に利き水に協力してもらい、雲城水のおいしさをアピールしようと考えた。
114	あいあいバスの利用促進～多くの人にとって利用しやすいバスにするには～
1年 文理探究科(国際) 山下琉希	小浜駅と市内各地を結ぶあいあいバス。あいあいバスの現状として利用者数、年間運賃収入が減少している。高齢化が進み交通手段として需要が高まると思われるため多くの人にとって利用しやすい運行形態を考える。
115	恋愛心理学
2年 普通科(文系) 中務勇翔	人は生きていくうちに恋をするもの、愛を持つものである。その中で人に対する恋愛について興味を持った。なぜ恋愛をするのか、何を考えているのか、恋愛の終着点とは何なのか恋愛の「定義」について自分なりに深く考えていかなければならないと感じた。
116	グラウンドの水はけの改善
2年 理数探究科 山本奈那実	水はけは複数の要因によって変化する。そこで私は、土の状態に注目し、排水性・保水性・吸水性を改善することが水はけの改善につながるのではないかと考え、研究を行っている。
117	高浜町の活性化
1年 普通科 今出怜那 竹中颯太	高浜町は漁火想がなくなるなどイベントの減少と同時に高浜町の人口、観光客の減少がみられた。そこで高浜町を再び活性化させるために、私達は地域の人を狙いに冬の季節に盛り上がるイベントを考えることにした。
118	韓国に対する印象～韓国に好印象を持つ人が若者の女性に多いのはなぜか～
1年 文理探究科(国際) 松見紗希	近頃、日本では韓国に好印象を持つ人が増加している。しかし、男女で比較すると韓国に対して好印象を持つ男性は女性に比べて圧倒的に少ない。そこで私は、なぜ韓国に良い印象をもつのが女性、しかも若者に多いのかが気になりその原因を探究した。
119	藻場の保全活動
2年 海洋科学科 赤崎航 岩本和希 上村歩夢	沿岸域では藻場が焼失し、ムラサキウニが繁殖する「磯焼け」という現象が起きている。ムラサキウニを駆除し、藻場を再生させるための研究を行っている。
120	身近な植物で香りの研究
2年 普通科(理系) 小野心々菜 河原香里奈 新田千乃	地域でとれた植物をつかってなにかしたいと思い、私達にとっても身近な植物の香りを活かしてなにかを作ろうと思った。まずは植物から香りを抽出してオイルを作ったが、思ったほどいい香りのものを作るのは難しかった。様々な植物を使ったり、状態を変えたりなど試行錯誤をした
121	かぼちゃを食べたカニってかぼちゃ味なのなぜなあぜ?
1年 海洋科学科 上川寧々 高島穂華 安田桜香	淡水に生息するモクズガニは与えるエサによって味が変わると考え、かぼちゃ、さつまいも、白菜で育て、味の違いを調べた。今後は味の変化や水質を変えて育ててみたい。カニが一番育つ水質とエサを調査する。
122	小浜・若狭の名水を用いたさらっとしたハンドクリーム作り
1年 普通科 田辺亜子 出口智郷	若狭・小浜には海があり、水を扱う仕事をしている方が多くいる地域なので、仕事で手が荒れてしまう方が多くいると思った。そこでわたしたちは若狭・小浜の名水を材料にしたオリジナルハンドクリームを作ってみた。
123	塩～塩が植物の成長に与える影響とその理由～
2年 理数探究科 坪内千大	私が過去に行った研究では低濃度の塩水を与えた植物がよく成長した。本研究では低濃度における塩が植物の成長に与える影響について調べる。これは植物生理学における基礎研究であり塩害対策にもつながると考える。
124	小浜市のインバウンドを増やすには
2年 普通科(文系) 川端七瑚	小浜にはたくさん魅力的な場所がある。だが、観光の環境が完全に整っていないとはいえないと感じ、それでは最大限に小浜の魅力を外国人に伝えられないと考えた。まず、観光の環境整備をより良くするに視点をあて探究をした。
125	なれずしと鯖街道を未来につなぐ
小学6年生 内外海小学校 泉本佳穂 吹田窓佳 中野彩桜 前田小夏 村上いづみ	小浜と京都をつなぐ鯖街道を踏破した。このつながりを未来へつなぐために考えたことを提案する。また、内外海の名産なれずしを未来につなぐためにはどうすればよいかを考え、子どもたちに人気が出るようにアレンジレシピを考えたい。
126	高齢者の憩いの場を作ろう
1年 普通科 寺井海吏	近年の高齢者社会について深く考えたことがありますか?私の住む地域は少子高齢化により活気が薄れている。そこで、高齢者と若者の交流を増やし、活気のある街にしたいと思い、この探求をした。

127	ワイヤレス給電
1年	文理探究科(理数) 岡本和真 中嶋渉太 本馬環 松木駿明 ワイヤレス給電は手間の軽減や防水・防塵性といったメリットがある。そのため電気自動車など幅広い活躍が期待されている。一方、位置ずれによる効率の低下などが課題であるため、どのようにすればより使いやすくなるか考えることにした。
128	ハンバーグの温度と肉汁の関係
2年	普通科(理系) 山下直喜 中道蒼樹 窪坂峻吾 井ノ口あい 森北咲希 ハンバーグ作りにはたくさんの工程があり何が美味しさに関係しているの気になった。肉汁が多いほど美味しくなると定義し、今回は焼き方に注目して実験を行った。実験を経て私達はハンバーグの温度が肉汁に関係しているのではないかと考えた。
129	睡眠とチョコレート
2年	普通科(文系) 今富ひかり 田中玲菜 睡眠の質の高め方を調べていく中で、愛知学院大学の大澤俊彦教授の研究に注目した。チョコレートに含まれるカカオポリフェノールはうまく生活に取り入れられれば、睡眠の質を上げることにつながると考えている。
130	アクアポニックスを用いてのバジル栽培
2年	海洋科学科 森川大空夢 河畑昌 自分たちでバジルをアクアポニックスで育て、手軽に手に取れるような商品化に繋げることである。バジルの値段が高価でなかなか買えないことが現状であり、自分たちでバジルを育てようと考えた。
131	発電菌を求めて・・・
2年	普通科(理系) 北脇陽和 杉崎杏里 田中美蘭 2000年代始めに見えられ、未だ謎だらけの発電菌。それはまさに現代社会の未来を照らす存在なのである。そこで私たちは発電菌の生態を調べ、どうにかして生活の中で利用できないかというテーマのもと探究を進めた。
132	煙から形状記憶合金への熱伝達
2年	理数探究科 中西亮太 山崎一帆 形状記憶合金は熱によって記憶された形状へと変化する合金である。この合金を用いることで電気を使わない排煙装置を作れるのではないかと考えた。煙の熱を効率的に合金へ伝えるため、煙から合金への熱伝達について研究を行っている。
133	運命の人誰だ!? ～幸せをつかみとろう～inOBAMA
2年	普通科(文系) 三木明歩 森玲菜 高鳥快斗 私達は小浜市の婚活事業を活性化させるために活動しています。現在、社会的に、未婚率が上昇しており、地域経済が縮小しています。街なかや学校でインタビューやアンケートを行ったり、小浜市役所の子ども未来課の方に現状のお話をお聞きしたりし、活動しています。
134	日本語をより正確に英語に訳すには
2年	普通科(文系) 下志万結菜 高倉明日香 グローバル化が進み、海外の人と話す機会が増えている。そこで私達は海外の人と会話する際に私達が普段から使っている日本独自の表現を、より正確に英語で伝えるための方法を考えた。
135	海洋プラスチック問題解決へ～条例提案～
2年	海洋科学科 村松美羽 細川未唯奈 養殖業に使われる発泡スチロールを削減するため、高密度ポリエチレン製フロートに代替するための条例を市町に提案し海洋プラスチックの問題解決につなげたいと考えている。
136	p4cのカチ 〜〜
1年	文理探究科(国際) 川嶋美咲 小矢結貴 正木夕弦 今を生きる若者に必要とされている社会人基礎力。その力を身につけられる対話の場p4cが若狭高校でも取り入れられている。そこで見つけたp4cの様々な改善点から、私達日本人の高校生に合った新しいp4cを模索しようと考えた。
137	最強の走り方
2年	普通科(文系) 前本航希 藤田陽斗 道根大地 スポーツをすることにおいて、足が速いに越したことはない。私達は野球部二人、陸上部一人で、足が速くなるためのトレーニング方法や走り方などを研究した。それぞれの部活動で刺激を与え合い、より足が速くなりたいと考えた。
138	ユニバーサルデザインの提案
1年	普通科 森本結 デザインという広い分野の中でもユニバーサルデザインについて探究していこうと決めた。夏休み中のフィールドワークで学んだことを活かして、今後は道の駅など多くの人が訪れる場所にUDマークを提案することを目標とした。
139	洗剤を使わない油污れの落とし方
2年	普通科(理系) 永木琢磨 樹田拓武 宮地天羅 料理をすることで油污れ。多くの方は洗剤で落としているかもしれないが、洗剤の普及により川や湖にたくさん泡が発生し悪影響を与えていることがわかった。そこで洗剤を使わずに油污れを落とせるものを見つけようと考えた。
140	日本の花の現状と課題
2年	普通科(文系) 益子明也 藤原徹太 コロナ禍後より問題性が顕著に現れている花の廃棄問題。ロスフラワーと名付けられる廃棄される花について調べ、フィールドワークなどを行い、問題の本質と向き合うことで根本的な解決を促すことのできる道を模索した。

141	果物の追熟抑制に関する研究
2年	理数探究科 伊豆田楓子 一部の果物はエチレンガスという植物ホルモンを放出しており、エチレンガスは果物の追熟を促進するが、過剰になると腐敗の原因となってしまう。そこで私は、エチレンガスの発生を抑え果物の長期保存を目的に研究を行っている。
142	気候ごとの花粉の多さ
2年	普通科(理系) 一瀬爽耶香 澁谷有香 河原由依 門野克海 小林偉也 現在、花粉症は身近なものである。花粉症による被害が増えているので、気候ごとで花粉の対策ができないかと考えた。そこで、花粉の気候ごとで飛散し易いものや、種類がどのようなものかを観察し対策方法を考えた。
143	外国人に向けての観光プロモーション～地元熊川の魅力を外国人観光客に感じてほしい～
1年	文理探究科(国際) 西野理音 日本ではインバウンド需要が再び高まっている。私の地元熊川は外国人が快適に観光できる環境なのか?改めて見てみると熊川宿には外国人向けの工夫が凝らされていた。では、より良い観光を提供するために自分にできることは何かを探究した。
144	年縞から当時の環境を知る
1年	海洋科学科 藤原柊人 森川耀史 年縞からは、現在私達が住んでいる地域が、昔はどんな環境だったかを知れる。年縞の中にある植物の種などを調査し、どんな植生があったのかを調べ、そこから現在と昔の環境は、どのように違うのかを観察した。
145	暗号理論RSA暗号～RSA暗号の安全性の検証～
2年	理数探究科 新田晴信 情報化が進む現代においてインターネット上では様々なデータが行き来している。暗号とは情報が悪意ある者たちに利用されないようにするために重要なものである。暗号には多くの種類があるがその中でも電子メールなどでよく利用されているこの暗号の安全性について考えていく。
146	マグナス効果の海洋利用
2年	海洋科学科 原田美優人 マグナス効果を海洋に関連させ、マグナス効果の利用につながるものを発案し制作を行う。実際に海上での利用を試みて、脱炭素化に繋がるものを作る。
147	ジビエのイメージUP!
1年	普通科(文系) 経種仁 大本純也 下丞晴人 獣害について調べていくと、鳥獣の大半が処分されていることがわかった。そこで、鳥獣の処分を少しでも減らすためにジビエのイメージを上昇させ、需要を高める方法をアンケートを元に考えた。
148	キャラクターを用いた小浜市のPR方法
2年	普通科(文系) 家村海音 コロナが収束しつつある今、小浜市は観光客数の伸びが停滞しており、現状を維持するだけでは増える見込みはない。そこで少しでも観光客を増やしたいと思い、地元をPRできるキャラクターを作り、小浜市をPRしたいと考えた。
149	防犯ブザーのデザインを考えよう
1年	普通科 一瀬胡羽 久保めぐる 幸池真穂 松宮瀧乃 防犯意識が低下しているため、事件がニュースで頻繁に取り上げられている。そこで私達はどうしたら防犯ブザーを持つ人が増えるのか考えた。防犯ブザーをたくさん人に持ってもらえる努力をして、デザインも考えていく。
150	セイトカアワダチソウを使った生物農薬づくり
2年	理数探究科 井上菜里 片岡莉乃 平岡満音 セイトカアワダチソウは、近年日本で繁殖が広がっている外来植物である。私たちはセイトカアワダチソウに含まれている特有の物質を用いて生物農薬をつくることを目的に、その物質を抽出する研究を行っている。
151	カイヨワの遊びの4要素とゲームデザイン
2年	普通科(理系) 網谷洋介 ロジェ・カイヨワは遊びについて定義し、競技 (Agon) , 偶然 (Alea) , 模倣 (Mimicry) , 魅惑 (Ilinc) のカテゴリがあることを提唱している。この定義を元に、楽しめるゲームのデザインを考えている。
152	嶺南を犬と楽しめる地域へ
2年	国際探究科 原田蒼 嶺北と嶺南の間にある交流人口格差。全国的に需要が高まっている犬のイベントを自ら企画し、問題解決を目指している。これまで犬のイベント主催者の方やドッグトレーナーの方等に協力して頂き探究を進めてきた。
153	牡蠣殻防草剤
2年	海洋科学科 内田庸聖 森下心花 井関鼓道 兼康基 廃棄されている牡蠣の殻に含まれる炭酸カルシウムを利用して、雑草を枯らし、また生えてくるのを防ぐ「防草剤」を作ろうという試みで、現在は豆苗に牡蠣殻を入れて効果があるか実験中である。
154	キウイの代替品を開発しよう～匂いの抽出方法の確立～
2年	理数探究科 清水悠花 高橋花那 果物の代替品は存在せず、果物アレルギーの人は特定の果物が食べられなくなってしまう。そこで私達は、果物の代替品を開発することを目的とし、最初に味に大きく関わる匂いについての研究をしている。

155	ルアー回収	1年 海洋科学科 伊勢柗人 大谷倫太郎	現在釣りが出るゴミの多さが問題になっている。釣りゴミにはルアーや釣り糸、浮き、など様々なものがある。釣りゴミは魚や海に入る人など色々なものに悪影響を与える。ルアーであれば回収できるのではないかと考え、回収できるものを作り問題の解決に繋げたい。
156	保護犬・保護猫について子どもたちにしてもらおう！	2年 普通科(文系) 竹中優貴 寺坂実莉	保護犬・保護猫の現状は、減少傾向にあるものの未だに解決されていない問題だ。この問題を解決するために私たちは譲渡会のイベントに参加し、保護ボランティア団体の方々にお話を伺った。そのお話をもとに私達はより多くの人々に伝えたいと考えている。
157	服のリメイク	2年 普通科(文系) 櫻井理央 浜田葡萄	ファストファッションが流行しているが多くの問題点がある。その一つとして衣服が大量に捨てられている。衣服を処分する際にはCO2が排出されるが、リメイクすることでCO2を削減しつつ服を捨てずにもう一度活用することはできないかと考えた。
158	煙と光の関係性	2年 普通科(理系) 五輪叶 植野聖永 億岐流世 森本恭平	ライブ会場で使用されるスモークを知っているでしょうか？スモークとはレーザー照明やスポットライトをきれいに見せるためにあります。学校行事や様々なところで使えるようなスモークを自分たちで作ってライブをしよう！！
159	ストリートカルチャーで地方創生	2年 国際探究科 井上歩夢 岡見皇汰 根本将汰	少子化により加速する、小浜市の廃校問題。この問題を解決するため、小浜市にある廃校を会場とした、ストリートカルチャー体験型イベントを開催した。現在は2回目のイベント開催を目指して活動中である。
160	コーヒーをおいしく飲むためには	1年 普通科 石崎翔大 上村杏梨 馬野愛海 田中碩大	大人のイメージがあるコーヒー。そこで私達は、そのコーヒーを美味しく飲みたいと思い、コーヒーに色々な物をまぜ飲んでみる実験をした。そしてコーヒーに合うものを探し考えた。
161	生活保護制度の課題 ～高校生の立場からしか伝えられない現状を学生に伝えたい～	1年 文理探究科(国際) 関凜子	差別的な思想、受給者の社会との繋がりや喪失、制度の穴、不正受給など、多くの課題を抱える生活保護制度。法改正は難しいため、学生に出前授業を通して高校生の立場からしか伝えられない現状を伝え、課題にアプローチしたいと考えた。
162	へしこ大革命チャレンジ	1年 海洋科学科 井上陽菜 植村結愛 重田優乃	最近へしこが売れなくなって食べられることが減っている。調べた結果、へしこが高級品であり、食べにくいことが原因だとわかった。そこで、私たちはへしこを使った新しい商品を開発しようと考えている。
163	静電気によるチョーク粉末の除去	2年 理数探究科 知場葉生 堀内宙 大西珂維 藤本勇太郎	学校生活において衣服へのチョークの粉の付着はわずかであるがストレスとなる。そこで、ホコリなどを静電気を取る製品から、静電気によってチョーク粉末を除去できるのではないかと考えて研究を行っている。
164	VRで海を届ける	2年 海洋科学科 村松悠汰	近年、若者の漁業就業者数や海水浴客の数は減少してきている。そこでVRを用いて美しい海を伝え、水産海洋系について興味関心を持ってもらい、若者の漁業就業者数や海水浴客数を増加できないか考えた。
165	若者を呼び寄せて活性化	1年 普通科 東芽衣 奥城海音 上林真奈 木崎彩実	小浜市では若者の減少が課題となっている。今若者の間でスイーツが好まれているので、小浜市の食材を使ったスイーツを作ろうと考えた。そこで、「和久里のごはんやおくどさん」に協力していただき、スイーツの開発に取り組んだ。
166	健康寿命を伸ばすメニュー	2年 普通科(文系) 知見有紗 高橋あおり 松本彩良	近年日本では高齢化が急速に進んでいる。そこで高齢者の方にもっと楽しく暮らしてもらうため、楽しみの一つである食事に着目した。高齢者の方は栄養や誤嚥など気をつけるべきことが多くある。それらを考慮したメニューを高齢者施設に提供した。
167	賑わう小浜市の未来理想図	1年 普通科 川島由賀 米村弥夢	私達は未来の小浜市について探究している。現在の小浜市は、楽しめる場所が少なく活気がないように感じる。この現状から未来の小浜市は活気づいてほしいと思い、未来理想図を考えることにした。
168	ネコは自分の声を認識しているのか	1年 文理探究科(理数) 小坂みなみ 大野莉生	動物に興味があり、特にネコについて調べたいと考えた。先行研究などを読んでいく過程で自己認識について興味を持ち、その中でも鳴き声に着目して、ネコが自身と他のネコの声を聞き分けられるのか調べようと考えた。

169	嶺南観光カードゲームで嶺南を知ってもらおう
1年 普通科 富永雄人 中川遥心	嶺南の魅力、どのぐらい知っている？福井県のイメージを調べると、越前ガニ、恐竜、あわら温泉、東尋坊など全て嶺北。嶺南にも観光しに来てよ！そんなわけで嶺南の魅力をカードゲームで楽しく知ってもらうことにした。
170	エアコンの使用時に扇風機を用いて教室全体をはやく冷やす方法
2年 理数探究科 馬野慶二 小津燦 平口萌花 森田真心	夏季期間、学校ではエアコンを使用しているが教室全体は十分に涼しくならないため、学習環境の悪化が懸念される。そこで扇風機を用いて、エアコンから出る冷気を教室全体に速やかに循環させ、室内環境の改善を図る。
171	僕たちに必要な強靱な肉体づくり～1週間の最強筋肉献立の作成～
1年 普通科 齋藤心 齋藤厚輝 西野帆高 濱瀬陽来	部活で活躍するために必要な強靱な体。その体を作るためにバランスの良い食事をとることが大切である。そこで私たちはスポーツ選手をサポートするための栄養素をもとに1週間分の献立を立てることができるのではないかと考えた。
172	美しい西津の海を守る
小学5年生 西津小学校 大橋一晴 佐々木太陽 熊谷陽斗 大場昂之祐 大浦樹里 竹原百香 重田逸揮 山崎愛海 杉谷あかり 樽谷芽依 茶久風樹	海に関わる地域の方や、観光客が幸せになるため、美しい海を守るために、西津の海について調べました。西津の地形や海ごみの調査を行いました。今後は地域の方々に声をかけて、一緒に海ごみ拾いをして、美しい海を守る取り組みをしていきたいと考えています。
173	磯焼けについて
1年 海洋科学科 大井春空 音海安春 中川彰吾 松浦杜太	私たちは海洋環境問題である磯焼けに着目した。磯焼けとは、海藻がウニに食べられ減少してしまうことをいう。海藻がなくなれば、魚の産卵場や飼育場が失われ魚の減少に繋がる。そこで、磯焼けを解決するための方法を考え実践したいと考えている。
174	おおい町の子育て制度の良さを知ってもらう
1年 普通科 桑田春栄 芝一花 堀家妃乃 松本佳乃	人口が減少し続けているおおい町の活性化のため探究活動を行った。調べると、おおい町は子育て制度がとても優れていることが分かった。そこでおおい町のこども家族館に子連れで遊びに来ている家族を対象にアンケートを行い、子育て制度についてデータ化した。
175	外来種を捕獲し、美味しく食べる
1年 海洋科学科 上伏颯大 重田悠佑 清水浩晴	日本の生態系を荒らす外来生物が問題となっている。そして、駆除された外来生物の殆どが、廃棄されている。そこで、美味しく食べる方法を考えることで日本の生態系を守り、外来生物に利用価値を与えたい。
176	若狭町の良さをPR
1年 普通科 宮川夢渚 森田咲実 横井詩織	コロナ禍で観光客が減少している。そこで私達は観光スポットを活性化させようと考えた。実際にフィールドワークをしたり、市役所の人から話を聞いたりし、高校生目線での観光スポットのマップを作成することにした。
177	構造的差別の解消～マジョリティ性を自覚させるには～
1年 文理探究科(国際) 小河結香 平野桜笑	多くの人が差別は無くなるべきだと考えているのに、社会から差別は無くならない。自身のマジョリティ性を自覚してもらうことで無自覚な差別を温存する社会の構造に対する批判的な視点を持ったマジョリティを育てる。
178	音楽とスポーツの関係性
2年 普通科(理系) 澤亮悟 貝井良暉 伊藤光汰 織田晴仁 樹田瑛斗 前川晏大朗	部活動で音楽を流しながらスポーツをしている姿をみて音楽とスポーツの関係性や、掛け合わせることでパフォーマンスは向上するのかなど気になった。そこでアプテンポの曲を聴いた時の瞬発力、持久力の増減について考えた。
179	乳酸菌の生存率
1年 文理探究科(理数) 樋口恭衣 畑下彩葉	一日の調子を整える朝ご飯としてよく食べるヨーグルトに注目した。ヨーグルトに含まれている乳酸菌を腸内で働かせるために、腸まで生きてきたまま届かせることが有効だと思い、乳酸菌が体内で死滅しない方法を考えることにした。
180	ブラシーボ効果を利用したパッケージ開発
2年 普通科(理系) 江角菜々子 中嶋真那	思い込みによって脳の誤認識を引き起こす「ブラシーボ効果」を知っているだろうか。私達は、ブラシーボ効果について理解を深め、それを利用したパッケージ開発を進めていくことにした。
181	放生祭を守りたい～地区外からの参加促進を目指して～
1年 文理探究科(国際) 内藤千誠	放生祭(ほうぜまつり)は私の地域で行われる伝統行事。しかし年々若年層の参加人口が減少している。そこで私は区外の人に目を向け、区外からの参加促進を実現して放生祭を守りたいと考え、探究した。
182	サゴシの活用
2年 海洋科学科 原田琥哲 島中惟登	小浜市で多く漁獲されているが、食文化がなく、小浜市では、ほとんど活用されていないサゴシの活用方法を見つけることを目的として探究を行っている。

183	スライムの活用
2年 普通科(理系) 中野桜花 藤井美緒	私たちが小さい頃よく遊んでいたスライムでなにか日常で役に立つことはないか考えた。そこで手につくチョークの汚れは簡単に落ちないことがわかり、スライムで簡単に汚れを落とすことができるのではないかと思い、実験を重ねた。
184	イシクラゲの適切な処理方法とは？
2年 普通科(文系) 岡本凜	雨水でプロブヨになり部員を滑らせるイシクラゲ。その危険性がゼロになる未来を目指し、イシクラゲの弱みを掴むため、砂糖、塩、酢の水溶液で反応を見たり、濃度の異なる食塩水を用いて浸透膜に関する実験を行った。
185	オリジナルパンフレットを作ろう！！
1年 普通科 朝日未嶺 川越紗恵華	小浜市は県外からみて主な観光地すらもはっきりしていない。そのため主な観光地、そして穴場スポットについてわかりやすくパンフレットにして県外観光客はもちろんのこと、地元民の方にも小浜の良いスポットを知ってもらいたいと考えた。
186	「認知症」を小学生のうちから学ぼう！
2年 国際探究科 河村安珠美	これからの社会において、認知症・高齢者に対する「偏見」を無くしていくことが重要になるのではないかと考えた。課題解決のため、小学生を対象として認知症に関する授業を行い、また、高齢者と小学生との交流会を企画している。
187	三方湖周辺の川的环境調査
1年 普通科 植野琉太郎 北清水蒼太	三方湖の環境を調査するために里山里海研究所の方とともに三方湖の生態系の調査をした。網とかご罟で生物を捕獲した。そこから三方湖の生物の分布、傾向を調査した場所ごとに考えた。
188	西津に観光客を増やす
小学5年生 西津小学校 船井恵香 宮川怜奈 山崎美羽 田中ちな実 藤田和花 石田はるか 松本龍之介 松吉蒼太 岡彪雅 横辻智典 加門史埜	高校生や大学生、市役所の方などと相談を重ね、西津に観光客が増えるために“自分たち何ができるか”を考えてきました。西津を中心にしたパンフレット作成や、特産品をキッチンカーで販売する検討など、観光客増加に向けて取り組んできました。
189	海に影響がないプラスチックの成分開発
1年 海洋科学科 河嶋棧士 田中隆汰 盛下陽向	今、海洋プラスチックごみが海に影響をもたらしている。原因は、完全には分解することが難しいプラスチックが海に廃棄されていることである。そこで、海に影響を与えないプラスチックの成分を開発してみたい。
190	脳の錯覚～クロスモーダルで社会貢献を目指す～
1年 文理探究科(理数) 角野心麗 梶原琉菜 中畑愛花 座主紗那	脳の錯覚の現象の一つにクロスモーダルという現象がある。クロスモーダルとは五感が相互に作用し合う現象のことで、風鈴の音で清涼感を感じるなど身近に感じることができる。これを用いれば何か社会の役に立てると考えた。
191	視力を落とさないようにするためには
1年 普通科 北村天 木村成希 佐藤旬 信谷弥八	今、スマホやパソコンの普及により子供の視力がどんどん低下している。調べた結果、若狭高校の1年生の約60%の視力がCC以下ということがわかった。そこで、アンケートやネットで集めた視力低下を防ぐ行動について考えた。
192	運動前後の栄養補給は何が最適か
2年 普通科(文系) 大下菜奈 中島由衣 松葉あい	部活動の試合前や試合間などに食べる食事について、何を食べたら良いのか分からずとりあえずゼリーなどで簡単に済ませている人が多い。そこで、すぐに食べられて栄養のある食事を運動部に提案し、より良いパフォーマンスの促進に繋げていきたいと考えた。
193	若狭町 観光
1年 普通科 井関彩乃 香川瑠奈 中村汐里	近年の若狭町では人口が減少傾向にある。そこで私達は若狭町でも人気のあるレインボーラインに着目した。観光客を簡単に増やせる取り組みとしてSNSを利用し、レインボーラインの魅力をより多くの人に広める活動を行った。
194	睡眠の質を高めるには
2年 普通科(文系) 松本友里 武内ののみ	私達は普通の学校生活のなかで授業中に眠そうにしている人が多いと感じました。これらは普通の睡眠状況が悪いのではないかと考え寝る前のルーティンや、寝る姿勢、就寝時間などすべての人にあった睡眠の質を高める方法を探究しようと思いました。
195	商店街活性化×音楽 ～音楽の力で小浜を盛り上げよう～
1年 文理探究科(国際) 崎田沙来 山本咲桜	過疎化する商店街と多くのバンドを持って余す軽音楽部。この2者をかけ合わせれば良い相乗効果を生むのではないかと考えた。そう思った現役軽音楽部は、商店街を軽音楽部のライブで雰囲気的にも経済的に盛り上げようとして探究することにした。
196	部活で使える体を作ろう！！
1年 普通科 西島優太 野村璃来 松浦暁英 的場均平	班員全員が運動部なので、部活で使える体を作るために筋肉に目をつけた。実際にジムにインタビューしに行き、筋トレの仕方や筋肉を保つ食事方法などを聞いた。また、班員全員で一ヶ月間筋トレをしてデータを取った。

197	椅子の引きずり音の軽減
2年	理数探究科 勝山雄太 猿木幸成 私達は、若狭高校での学校環境において椅子の引きずり音が騒音問題となっていると考えた。そこで、ストレスフリーな学校環境を実現するために、椅子の引きずり音の発生要因がスティックスリップ現象であると考えて研究を行っている。
198	海ごみを出させないようにしながら再利用
1年	海洋科学科 谷村匠 鳥羽悠希 松山陸翔 山近颯士 現在問題となっている海ごみを調べた結果、砂浜にはプラスチックや漁網などのごみが落ちていることがわかった。そこで、海ごみを減らすために再利用ではなく、ごみを出させないためにどうしたらいいか考えたい。
199	水深とミジンコのヘモグロビンの関係
1年	文理探究科(理数) 種田瑠色 多くの動物のHb(ヘモグロビン)は生息場所によって濃度が変化する。そのなかでもミジンコはHbの変化が著しく大きく、体が透明であるためHbについて調べるときに魅力的であると考えられている。このミジンコを用いてHbについて調べてみようと考えた。
200	海洋ごみについて
1年	普通科 子末蘭真 竹原侑人 道下貴匡 吉岡佑真 近年世界中でプラスチックごみ削減が行われているがゴミが減っているという実感が無い。そこで地域の海を見に行ってみたところ想像以上にゴミが落ちていた。そこからゴミごとに対する解決策や提案を考えている。
201	小浜市で恋愛をしよう
1年	普通科 田辺紬 藤原優奈 近年、小浜市では人口がどんどん減っている。そこで、私達は小浜市や若狭町の恋愛スポットを取り入れた婚活イベントを市に提案したいと考えた。そのためにまず恋愛スポットを知ったりつくったりする必要があるため、関わりのある場所を調べていきたい。
202	いいわけの違い
2年	普通科(理系) 奥本翔大 江島那音 日本人はグローバル化により世界と関わるが多くなった。そこでいいわけについて気になり私たちはいいわけについて若狭高校生と外国の知人に協力してもらい調査した。調査を基にポジティブになるための教訓について考えた。
203	プラスチック外部着色剤除去の試行とその仕組の解明
2年	理数探究科 佐々木快晴 多くのプラスチック製品にプラスチック着色剤が使用されており、それが不純物化することによりリサイクルが円滑に行われないという問題がある。その解決のため溶剤を利用した着色剤除去とその化学的な仕組みの解明を目的に研究を行っている。
204	西津の特産品の開発
小学5年生	西津小学校 竹森優 藪本龍臣 藤原昂大 角野郁実 森下陽生 三浦美結 木下日和 村西奏那 藤田香菜 大谷玲実 栗駒花央 田淵未来 杉谷あかり 地域の人々や観光客が幸せになるために、地域活性化を考え、西津で有名な「化粧地蔵」の商品化を考えました。市内の和菓子屋さん協力していただき、『どら焼き』と「化粧地蔵」を合わせ商品化できるよう日々試行錯誤して取り組んでいます。
205	子供のメタボリックシンドロームの発症を防ごう
2年	普通科(文系) 岩木もも子 奥西椋来 近年子供のメタボリックシンドロームの割合が増加している。調べた結果、運動不足や生活習慣の乱れが原因であることがわかった。そこで私達は子供向けのメタボリックシンドローム予防のできる簡単な体操を作ることにした。
206	言葉の持つ力～原文の効果的な訳し方とは？～
1年	文理探究科(国際) 今井杏南 中尾咲空 皆さんは同じ意味の言葉でも言語によって、受ける印象が違うと感じた経験はありませんか？私達はこのことに着目して、効果的な和訳の方法などについて探究しています。ぜひ翻訳の面白さを感じてみてください。
207	シャー芯の再活用法
中学2年生	上中中学校 高橋夏実 身近にある文房具から出るごみを減らしていけないかと考え、短くなったシャー芯に目をつけた。ごみを減らすだけでなく買う前にできる事や寄付についてなど広い範囲で活動している。みんなが取り組みやすい活動を広めていきたい。
208	生成AIの正しい使用方法とは
2年	普通科(文系) 西室湧真 現在主にインターネットで発展をしている生成AIは便利なおもちゃである反面、使用方法によって多くの人に悪影響をもたらすことがある。そのため、生成AIの正しい使用方法を自身で考えて発信しようと考えた。
209	学校に安心できる場所を設置するには
2年	普通科(文系) 加藤陽香 不登校児のなかには「原因はわからないが学校に行きたくない」人がある。家が安心できる場所だから学校ではなく家にいると思われる。学校に安心できる場所があれば「学校に行こう」という気持ちが生まれると思い、学校内に安心できる場所を作りたいと考えた。
210	地域の人が集う場所を発信する方法の探究
1年	海洋科学科 高田渉夢 時岡俊汰 若者や子供が遊べる場所が身近にあることを知ってほしい。地元の人でも意外と知らないスポットをみんなに知ってもらうためにはどうしたらいいのか。SNSやマップの作り方など人を惹きつける方法について考える。

211	獣害対策を通じて森林の環境保全をする
1年 普通科 岡本葵里 辻佳純	畑や民家に被害を与える獣害。調べた結果、獣害は人間が住む街だけでなく森林にも被害が及んでいることがわかった。そこでまずは森林に焦点を当て、森林保全活動を通して持続可能な環境づくりに貢献したいと考えた。
212	海洋プラスチック問題に対する意識改革～箸で世界の海をクリーン作戦～
2年 海洋科学科 堂下詠斗 岩田庸太	『Ocean』箸の研究を引き継ぎ、お箸を通して海洋プラスチックごみ問題の啓発に努めている。地元の祭りでアンケート調査を行った結果、海洋プラスチックごみ問題に関心を持っていない人が多いことがわかった。
213	ゲーミフィケーションを用いたボランティア活動
2年 普通科(理系) 浅田美羽 國久明日香 飛永紗和	回収率があまり良くないエコキャップ。スウェーデンの事例で、ゴミ箱に楽しい仕掛けをすることでポイ捨てが減り、一日にたかさんのゴミがゴミ箱に集まった。私達は、この事例をエコキャップバージョンで行おうと思い探究を進めた。
214	貧しい国のために私達が出来る事
中学2年生 上中中学校 井上咲月	若狭高校のみなさんが制作した宇宙サバ缶を拝見し、宇宙までは行かなくても、世界や地域に貢献できる活動をしたいと考えた。調べたことや、実際に行った事を通して、SDGsの活動に取り組む大切さを伝えたい。
215	運動神経の向上～体を思うように動かすには～
1年 文理探究科(国際) 千坂勇喜 吉田航大	運動神経が良い人と悪い人では何が違うのか、それを調べるために運動イメージと身体イメージに注目した。2つのイメージと運動神経の関係を知られることで、体を思うように動かせるようになる方法を見つけ、ワークアウトプログラムを作成した。
216	放射線防護クリームを作る
2年 普通科(理系) 小西樹 小西陽菜香	現在、放射線技師はX線から胴体のみを防護エプロンで守っている。そこで人体に影響がなく、高いX線遮蔽率を示すタングステンという物質を用いて機動性を保ち、指先に使える放射線防護クリームを作ることを考えた。
217	ビリビリアクエリ
1年 文理探究科(理数) 大上連 竹原順正	部活中にアクエリアスを飲んだときに頻繁に感じる口の中のビリッと感。口の中でのビリッと感について調べ、その現象について検証や考察を行うことで、アクエリを飲んだときに感じるビリッと感の原因を解明しようと考えた。
218	若狭町のごみを減らすには
中学2年生 上中中学校 辻本真央	ポイ捨てなどは自分たちの目に届かないところにたくさんある。また、多くのごみはたかさんの生き物に悪影響を及ぼすことを知った。そこで、若狭町にあるポイ捨ての現状を色んな人に知ってもらいたいと思い、実際にごみ拾いを行ったり、自分から呼びかけ活動などをして調べようと考えた。
219	高齢者にとって住みやすいまちづくり
2年 普通科(文系) 加茂翔和 西村太陽 内方亮太	最近小浜市では高齢化が進んできている。しかし、小浜市は、高齢者にとって住みやすい街ではないのではないかという仮説を立てた。そこで私たちにできることを考え、少しでも高齢者が過ごしやすいと感じてもらえる取り組みを考えたい。
220	小浜を美容の街へ！
1年 普通科 小柳百華 廣畑芽依	小浜市は美容の資源が豊富なのにもったいない！私達はその資源を利用した美容企画によって、小浜市が活性化できるのではないかと考えた。そこで小浜市の資源を調査し女性をターゲットにしたアイデアを研究している。